

故郷のすばらしさを伝えたい

ユネスコの世界遺産に平成29年、福津・宗像の『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』が登録され、福津では「新原・奴山古墳群」が世界遺産になりました。この世界遺産の古墳群は議会においても一般質問などで取り上げてきました。今回は、その質問などを振り返りながら、市民の思い、現在の進捗状況などをまとめてみました。



世界遺産の新原・奴山古墳群への思いや魅力について、福津市観光ボランティアガイド会（いさば会）の有吉敏高会長に話を聞きました。

世界遺産に登録された国内初の古墳群を訪れてほしい

平成29年当時、海の道むなかた館長の講話や、九州国立博物館の特別展などの盛り上がり報道に接しました。宗像と沖ノ島の世界遺産登録は確定と思いましたが、新原・奴山古墳群はギリギリまで世界遺産に登録されるかわかりませんでした。決定したときは大喜びしました。

今では、日本全国や海外から多くの観光客が世界遺産を訪れます。皆さんも現地に来て、福津の歴史を感じてほしいです。ちなみに、遺跡の出土品は、カメリアで保管されていて、見ることができるとですよ。



▲福津市観光ボランティアガイド会（いさば会）有吉 敏高 会長





▲古墳群での菜の花の種まきに集まった観光ボランティアガイド会（いさば会）の皆さん



▲新たに宗像市光岡に完成したカンントリーエレベーター

た移転時の
国県市の負
担割合は。
答 コメ麦
生産農家に
は負担にな
ると認識し
ている。施

宗像市内に
新施設が完成
したので、令和
4年度に津屋
崎の施設を解
体。関係者の協
力で、景観は自
然に近づいた。



市民インタビュー

お米の運搬に少々時間
がかかり不便になりましたが、世界遺産の景
観はとても向上しまし
た。

▲アソウファーム 麻生 正雄さん

令和元年12月
定例会一般質問
問 稲作をやめるといふ人や、
運搬が農家負担になるといふデ
メリットを認識しているか。ま

設解体等の費用負担割合は国県
が88%、市が12%となる。
あれから進んだのか？

カンントリーエレベーター移転で困惑は



▲勝浦の国道沿いにあったカンントリーエレベーター

の諮問機関
「イコモス」
へ示した新
原・奴山古
墳群整備行
動計画に基
づき、公有
化事業を進

着実に進ん
でいる。現在、
公有化率は95
%。令和10年
度には100%
をめざしている。



市民インタビュー

古墳群の草刈りをして
いますが、以前と比べ
国道沿いは民間の建物
がなくなり、スッキリ
しました。

▲谷口観光いちご園 谷口 知文さん

令和元年12月
定例会一般質問
問 新原・奴山古墳群内の用地
取得の状況は。

めている。平成30年度までに公
有化した土地は約10万㎡、公有
化率は約82%である。

用地取得は進んでいるのか

そういえば
あの質問は
どうなった？

世界遺産関連事業は進んでいるのでしょうか。過去に議員
が行った一般質問や総括質疑が、その後、市政にどう生かさ
れたのか、市の担当部署に聞いてみました。
問 当時の質疑・質問 答 当時の市の回答



⑧



⑦



①



古墳群の四季の彩り



①展望所から観光案内をするボランティアガイド ②なたねの種取り ③菜殻火(ながらび) ④小学生の現地学習 ⑤古墳とひまわり ⑥散策路に咲く彼岸花 ⑦古墳とコスモス ⑧コスモスと乗馬 ⑨種まき後の記念撮影 ⑩⑪⑫菜の花の種まきをする市民、郷づくり、市職員 ⑬菜の花と古墳まつり ⑭⑮⑯菜の花時期の楽しいかかし ⑰古墳まつり ⑱古墳現地説明会 ⑲古墳まつり古代人ガイド ⑳展望所から望む菜の花畑



④



③



②



⑩



⑥



⑤



▲古墳が並ぶ風景

受け止め、進めたのか。あれから進んだのか？ 多くの地域住民と何度話し合っても、不安の

光の視点から、市民や市内事業者と共に、古墳周辺にコスモスや菜の花などの種まきをしている。



市職員インタビュー

新原・奴山古墳群を訪れた人に喜んでもらえるよう、地域の人たちと共働し、魅力を高めていきたいです。

▲文化財課 池ノ上 宏 世界遺産係長

令和元年7月臨時会議案審査

用地取得にあたり委員会の付帯決議の対応は

市が世界遺産内に位置する民間事業者の財産を取得するにあたり、委員会は「地域住民をはじめ福津市民への情報共有及び共働をこれまで以上に諮り、丁寧に対応して進めること」という付帯決議を付した。市はどう

解消に努め、情報共有を図った。また、市民や郷づくり、観光協会等関係団体、県職員、大学教授と共働し、ワークショップ形式で多くの声を反映した、第2次整備計画を令和3年度に策定した。ほかに地域活性化や観



▲小学生の世界遺産現地学習

に授業を実施している。令和3年度は、その他の市内の3小・中学校でも実施している。

校と授業数を増加させたい。



市民インタビュー

授業の科目等に紐づけて世界遺産学習を進めています。各学校の現状に合わせて取り入れてほしいです。

▲統括地域コーディネーター 西田 明日香さん

令和4年9月 定例会一般質問 **世界遺産学習をすべきでは** 本市の小・中学校における世界遺産学習の取り組みは。 校区内に新原・奴山古墳群がある勝浦小学校が、最も盛んに授業を

あれから進んだのか？ 現在も勝浦小、福岡南小、神興小、津屋崎中で授業を実施している。今後も、古墳群での現地学習と文化財課職員が学校で行う出前授業を2本柱にし、世界遺産学習の実施校と授業数を増加させたい。

能登半島地震でお亡くなりになられた方々に深く追悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、議会では昨年一年間で議案や発議、請願など合計120件を審議し、議決しました。一般質問と総括質疑では、延べ62人の議員が活発な論戦を展開しました。

特集の新原・奴山古墳群も議会で何度も取り上げています。世界遺産登録から今年で7年目を迎え、今では海外からも人が訪れるようになった古墳群は、福津の宝であり誇りです。日々、ご尽力されている関係者の皆様には、心から感謝しています。

文化財という視点では、豊村酒

より開かれた議会をめざします

※新年の挨拶は広報ふくつ2月号参照

造建造物が国の重要文化財にまもなく指定されます。古墳群とともに、文化観光資源として活用の幅が広がることを期待されます。

本年も開かれた議会をめざし改革を進めて参りま

すので、議会に対し、皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福津市議会議長 高山 賢二



3月には黄色のじゅうたんが広がるよ

古墳まつりのはにわの案内板



令和3年9月 定例会総括質疑 今後の活用方法は

問 今後の活用方法や、多くの歴史遺産にどう取り組むのか。

答 新原・奴山古墳群のPR活動をし、市内の史跡や観光地等の周遊を図っている。交通不便の解消と市内観光地の周遊増加

を図るため、一人2千円のタクシークーポンを補助し、現地を訪れる観光客の支援を実施。ほかに古墳まつりも開催している。

あれから進んだのか?

タクシークーポンの利用は、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で18件だったが、令和4年度は139件。コスモスや菜の花の時期に利用者が増えている。今後は多くの歴史遺産や観光地を結び、周遊してもらおうことで、市内の消費喚起にもつなげたい。

市民インタビュー

福津に住んでいる皆さん、世界遺産をPRするためにも来て、見て、その素晴らしさを感じてください。

▲観光ボランティアガイド会 永松 春一さん

